平成 28 年度若穂公民館運営審議会開催概要

１　日　　時　　平成 28 年６月 30 日（木）午後２時から午後３時 30 分

２　場　　所　　若穂公民館　２階　会議室

３　出 席 者　　運営審議会委員　６名　　事務局　２名

４　協議事項

(1)　平成 27 年度公民館事業報告について

(2)　平成 28 年度公民館事業概要について

(3)　その他

６　議事概要

○協　議

(1)について資料により事務局から説明

○質 疑 等

委　員　　成人学校は１学期８，０００円ということだが、公民館講座は原則無料で実費だけいただいているということでよいか。

事務局　　そのとおりである。材料費の実費だけいただいている。

委　員　　動書の道具は、個人で用意するのか。

事務局　道具や半紙など必要なものは全て受講者の方に用意してもらっている。

委　員　　若穂文化祭にも出展してあったが、初めてとは思えない作品だった。

委　員　　とても興味があるので、やってみたい。

委　員　　書法は本当に自由なのか。

事務局　　多少の書法はあるようだが、ほぼ自由。自由に書くことで立体感や躍動感が生まれる。先生もとてもほめ上手なので、受講者の方もやる気が出ると聞いている。

委　員　　先生は女性の方か。

事務局　　そうである。

委　員　　成人学校の健康太極拳の受講生が固定化したため、サークルになったと説明にあったが、新しい人が途中から入りづらいというような雰囲気などあったのか。また、新しい方も入りやすくするような工夫はあったのか。

事務局　　入りづらいというようなことは把握していないが、成人学校は長野市の広報にも掲載しており、地区内ではチラシを回覧して周知している。
２年目の方が多い中、初心者と経験者が入り混じってやるのは困難になってきてしまうので、今年度からサークルに移行してもらった経緯もある。

委　員　　では、今後新たに太極拳の成人学校が開講することもあるってことか。

事務局　　今のところその予定はないが、将来的に要望があれば、そういうこともある。また、「サークルなどで太極拳をやりたい」というお問い合わせがあれば、そのサークルへつなげていく。

委　員　　若穂歴史講座について、だいぶレベルが高いようだが、地元若穂の歴史を学ぶ講座があってもよい。
住自協には若穂塾があって年１回から２回開催したりもしているし、郷土史会というものもあって、地区外へ出たりして歴史探訪などしている。ただ、若穂塾ではわりと地区外の人が対象となっている。
地元若穂の方たちも意外と地元を知らない。例えば綿内の人は綿内のことはある程度知っているが、川田・保科のことはあまり知らないとか・・・。公民館でそういった地元の歴史や現地巡りのようなことはできないか。
また、そのような場合、市のバスは出ないのか。

事務局　　公民館講座ということであれば市のバスは出せる。

委　員　　そういうことであれば、市のバスで現地巡りをすれば、意外と参加者もいるのではないかと思う。難しいかもしれないが、やってみると面白いかもしれない。若穂も歴史的な部分や建造物もたくさんある。

事務局　　検討していきたいと思う。

委　員　　歴史講座は野外研修があるが、これも市のバスを使用しているのか。

事務局　　そうである。

委　員　　市のバスに使用回数の制限はあるのか。

事務局　　特にはない。空いていれば使用できる。

委　員　　地域の中であれば市のバスを使って、特に子どもたちも綿内では「綿内カルタ」など作って地元を知ってもらったりしている。公民館講座でも例えば「親子歴史講座」などで地域を巡って、講師も地元の方にたくさんできる方がおられるので、地元の方に講師をお願いしたらいいと思う。

委　員　　地域内だと大型バスは難しいが、マイクロバスで２０数人で締め切って、それを数年続けていけば、だいぶ浸透していくと思う。親子となると平日は難しいかもしれないが、夏休みなど利用してはどうか。
地域を知ることは地域を好きになったり大切に思うことにつながる。住自協でもいろいろ取り組んでいるが、公民館でもやってもらうと有難い。

事務局　　検討します。

委　員　　以前は人生教室の野外研修で、申込の人数の制限がなかったので、後ろにまだたくさん並んでいたにもかかわらず、早い段階で定員いっぱいで締め切られてしまったが、人数制限を設けて対応してもらえたのでよかった。

委　員　　この野外研修も市のバスをしようするのか。

事務局　　そうである。

委　員　　家庭菜園楽習教室は、大変人気だったようだが、例えば花づくりとか、ガーデニングの教室なんかやってみってはどうか

事務局　　ガーデニングの講座は数年前にやっている。また、園芸福祉の講座も行って、現在はサークルで活動されている。

○協　議
(2)について資料により事務局から説明

○質 疑 等
委　員　　バラエティにとんだいろいろな講座を企画されていて有難く思う。
特に「食育」の地域の学びの講座で綿内のれんこんと若穂全体のジビエ料理、これに取り扱っていただいて、食材の利用価値として広めてもらうことは有難い。
できるだけ広報していただいて、地域外の方にも響くようにしてほしい。
特にジビエは、若穂地区の事業にもなっているので、支所とも連携してお願いしたい。
また、ちくちくワクワク講座でも地元の棉を使うということで大変よいと思う。

委　員　　ジビエも支所とタイアップして取り組んでほしい。
また、これも住自協の会議の中で課題として出るが、地元でも少子化対策が必要ではないかと話になっている。公民館も連携して、公民館としてできるところは共催なり主催していただくと、実績としてはさらに良くなるのではないかと思うので、要望したい。

事務局　　了解した。

委　員　　社会体育事業について、昔は競技性の高いものが多く、かなり盛り上

がったし、役員も地域の住民に広く呼びかけたものだが、今はあまり呼びかけていないように感じる。役員が競技に出ているという感じ。
また、大会後の懇親会でも、飲むことがいいというわけでもないが、そういうところからも人間関係が築けたが、今は人間関係が希薄になっていて残念。
社会体育事業は、大事な行事だと思うので、是非続けていただきたい。

委　員　　社会体育事業も特定の人が参加している傾向ということなので、できるだけいろいろな人に参加してもらいたい。地域公民館部会が主体だと思うが、公民館としてもたくさんの方が参加してもらえるよう要望を出していってほしい。

委　員　　市民運動会に関しては、いろいろ意見があるが、これは存続していくべき。54 回も続いてきたということはすごいことだし、それだけたくさんの役員やらが携わってきたということ。そんなに簡単にやめてはいけないと思う。
もし、参加者が少ないという原因があるなら、内容を工夫して見直してみんなが参加しやすいように考えていけばよい。我々も協力できるところは協力していくので、よろしくお願いしたい。

委　員　　自分の地区では、お祭りも幟は高齢化の影響で、怪我があってはいけないということで簡単にしていたが、記録に残したいと申し出たら、今年の夏祭りには昔ながらに合計 10 本の幟を立てることになった。せっかくだから機械ではなく、人力で立てたいと思っているが・・・。

委　員　　今年は御柱で地元の神社がやるのかどうか心配してたが、全ての神社が御柱をやった。７つある神社で３つは人力で立てた。子どもたちも参加してくれた。そうすることで継承していくことができる。

委　員　　若穂にはたくさん文化財がある。そういうことを、皆さんで理解して継承していくことが大切。

委　員　　球技大会では怪我人が出ているということだが、これは、若穂中学だけでなく若穂体育館も使えばよいのでは。会場が狭いから混みあって、ぶつかって怪我人が出るのではないか。

事務局　　ぶつかり合って怪我をしたということではないので、あまり関係ないと思う。会場を二つにするとなると役員の数の問題や応援する際の移動の混乱ということもあるので、会場を分けるのは難しいと感じる。

委　員　　怪我をするのは、バレーの経験者が多いのか。

事務局　　そう感じる。ある程度できるので無理をしてしまって怪我をしてしまっていると思うので、今年もストレッチなど準備運動をするように呼びかけていたが、結局怪我人が出てしまった。

委　員　　講座からサークルに移行することは、大変よいことと思うが、市からサークルへの活動費などの補助はないのか。

事務局　　「サークルに」という補助はない。

委　員　　自分たちでサークル活動していくということが大事。なので、市からの何らかしらの支援があるとよい。例えば３年に１度でもよいし、そういった制度ができればよいと思うが。

事務局　　「制度」ということになると一公民館では難しいが、例えば今年度はサークルの「花の会」さんに講座の講師をお願いして、講師料をお支払いする予定。そういった形での支援もできる。せっかくサークル活動の中で、腕を磨かれているのであれば、そこから今後講師として育てていくというのも公民館の役割ではなかろうかと思っている。そのような形での支援も大切かと思う。

委　員　　よいことだと思う。ただ、先ほどの「制度」という形での支援も要望として出されたとどこかの会議などで取り上げてほしい。

事務局　　了解した。

事務局　　本日の貴重な御意見を参考にして、講座の企画等に活かしていきたいと思う。本日はありがとうございました。